

## これまでの会議での委員からの発言＋第4回会議後の委員からの提案

### 政策提言

【アンケートから見えてきたもの】

- 八戸の若者世代の幸せとを感じる要素は 家族
- 幸せと感じられない要素は 仕事、職場、給料
- まだ働いていない学生の幸せ感は保護者のおかげでそこそこ高い。
- 家族の手前であるパートナー、恋人のほしい若者が多い 学生も同様

【当初のテーマに立ち返る】

- 八戸というまちが夢を見させられるまちであるためにはどうすればいいか？
- 八戸で何か面白いことが起きているぞ、みたいなムーブメント、雰囲気
- 小さなことでも実現したい人のサポート
- 大成功したいとかではなく、自分らしく生きたい
- ちょっとでも何か興味がある、やってみたいと思うことを拾いあげ、それを実現、コミュニティに接続して何か実現する
- 交通手段に困っている
- チルい第3の場所を求めている
- 市民が自立して、自分の思い描いているものを実現できる、自己実現できるまち
- 幸せな状態というのは、ハード面のほかに定期的にその幸せを感じられることがある状態

【やってみよう！】

### 提言：こみゆにてい・であい

#### ①イベント

##### ●現状課題

- ・八戸圏域でも朝市を中心に様々なイベントは開催されている。
- ・民間の実施では今後の継続性が心配
- ・学生自体も、魅力的なまちが何なのか、そもそも地域とは何か、知らないこと、分からないことが多い

##### ●期待する展望

- ・官民がうまく連携する形で、継続できるような支援
- ・同世代が人が集まっているまち(賑やかな場所、店)⇒安心感、居場所
- ・見るだけで楽しめるまち(オシャレな店、写真映えする場所)⇒低価格、長時間 OK
- ・コミュニティが個々に乱立しているところがあるので、相互に連携して競争ではなく共創していく
- ・転勤等で初めて八戸に来た人が頼れる窓口があると、助けてもらえると思える安心感がある

##### ●施策実施に対する懸念点

### ●以上を踏まえた委員からの提案

1 若い世代同士のコミュニティがあり、それを町内会とうまく連携するなど、世代を超えたコミュニティを作る仕組み

### ②出会いの場(共通の趣味、サークル)

#### ●現状課題

- ・コミュニケーションに自信がない若者
- ・民間の実施では今後の継続性が心配

#### ●期待する展望

- ・官民がうまく連携する形で、継続できるような支援
- ・コミュニケーションは能力ではなく練習で獲得できるスキル

#### ●施策実施に対する懸念点

### ●以上を踏まえた委員からの提案

1 婚活から、果ては離婚取り決め支援まで。意思決定とコミュニケーションからは逃れられない。鍛える機会の支援(コミュニケーション研修?コミュニケーション道場?)

2 メンター(指導者、助言者)養成

## 提言:かいしゃ

#### ●現状課題

- ・給料が安い、休みがない
- ・子育て中の人の自由な時間がとれない
- ・都会での人混みや、膨大な仕事に追われる毎日でメンタルが疲れ切ったことから帰ってきたいという若者も多い。
- ・都会と地方では、収入や就職先で格差がある
- ・学生と会社とのマッチングができておらず、収入の面や娯楽面で都会を選択する

#### ●期待する展望

- ・収入は変えることが難しいが、支出を抑える支援
- ・休日を生み出せるような支援
- ・魅力的な会社がたくさんあるまち

#### ●施策実施に対する懸念点

### ●以上を踏まえた委員からの提案

1 八戸的ワークライフバランス認定制度

2 土日の預け先対策

3 待遇改善(特にエッセンシャルワーカー(日常生活を維持するために不可欠な職業)の待遇改善)

4 医療や福祉従事者に助成金や家賃補助

## 提言：じょうほうはっしん

### ●現状課題

- ・行く場所があるのに無い、欲しいと思っている方は情報を知らないだけではないか
- ・商業施設の問題を解決しても意味がないのでは？
- ・不満ばかりで満足するための方法を知らない方が多いのでは？
- ・誰に何を聞いていいのかわからない→知らないまま、不満
- ・情報を自分で取りに行かないといけない(知っている人だけが上手に使っている)
- ・魅力的なまちが何なのか、そもそも地域とは何か、知らないこと、分からないことが多い

### ●期待する展望

- ・新しい魅力？既存の魅力の発信！魅力の活かし方

### ●施策実施に対する懸念点

### ●以上を踏まえた委員からの提案

- 1 八戸でどんなことができるのか実例を広報はちのへなどで掲載
- 2 八戸版ロールモデルからの発信(世界を飛び回ってビジネスで活躍している人、子育てしながらやりたいことをやっている人、休日にお金をかけずに楽しんでいる人)
- 3 八戸市民に向けた旅本のような情報誌・アプリ・サイト→八戸市民が地元の魅力を知る！
- 4 八戸版ことりっぷ→ライフステージ別でオススメの八戸のスポットやお店の紹介、休日の過ごし方
- 5 若者向けに開かれている市の相談窓口、LINE 等の SNS
- 6 若者が何を知らたがって、何を知らないのか、何を求めているかの集約(八戸の若者向け FAQ データベース)
- 7 プル型の発信からプッシュ型の発信へ！
- 8 市の体育施設の開放情報を定期的にSNSで発信！「来週はここで卓球を！」
- 9 行政のデジタルサービスはデジタルネイティブ世代から！アイデア出し！
- 10 デジタルサービスのフィードバック、八戸アプリ、あなたならどう使う？

### ●主な事例

- ・北九州市の「Z 世代課」。Z 世向けのプロジェクトや特徴分析など

## 提言：ちゃれんじ

### ①自立応援プログラム

### ②若者の新しいチャレンジを支援する

### ●現状課題

- ・成人となっても、いきなり自立し色々なことを自分ではできるようにはならない
- ・起業する人にとってはハードルが低いまち

・→経験を積み、自己実現したい人にとっては起業しやすいのは魅力的である

### ●期待する展望

- ・年齢的に児童ではなくなることから福祉の支援が途切れてしまうという問題があるように、いきなり放り出されるのではなく、段階的に自立を応援できるような仕組みづくり
- ・行政が若者を支援することばかりではなく、若者が行政へアドバイスするような機会や組織
- ・創業したい人だけではなく、会社員、フリーランスや経営者でも自己実現できるまち

### ●施策実施に対する懸念点

### ●以上を踏まえた委員からの提案

#### 1 起業支援事業の延長

→起業家支援プラットフォーム事業の長期的な支援

#### 2 チャレンジショップの設置

→小規模や短期間でも、飲食店や小売店をやってみたい若者へ安価で出店できるような場所

## 提言:あそび

①若者の居場所を意図的につくってみる

②若者の新しいチャレンジを支援する

### ●現状課題

- ・ラウンドワンがほしい、遊ぶ場所や商業施設がない
- ・無料の駐車場がほしい

### ●現状

- ・美術館周辺は、大学のサテライトが集まっているエリアであり、美術館も教育事業を推進している
- ・YS アリーナ周辺大規模な無料駐車場がある、車で行きやすい
- ・八戸駅西周辺地域が e スポーツのイベントが開催されており

### ●期待する展望

### ●施策実施に対する懸念点

### ●以上を踏まえた委員からの提案

#### 1 ゲームまつり！e-sports 実況！

→オンラインコミュニティーづくり？

#### 2 八戸版 ラウンドワン バスケット、卓球、バッチング体験、スケボー、BMX などの場所をつくる

→長根の体育館は町から遠いが、野外のホッケーリンク付近なら街中から行きやすい、ほどよい料金  
需要はありそうなので、ほどよい料金をとる

- 3 まちにわでの映画観賞会(はっち、マリエントも活用?)事例:恵比寿ガーデンプレイスあたりでの野外映画会(食べ物、飲み物持ち込み、ピクニック形式で)
- 4 学生や高校生が、美術館やその周辺で活動しやすいような政策学生向けに安価で場所を貸す
- 5 ファミリー層を中心に活動しやすいよう場所の貸し出しや企画(YS アリーナ)
- 6 ゲーム等のインドア派が集まりやすいような政策(八戸駅西口)
- 7 安い料金でわいわい運動できる場所が若者に開放されていてほしい
- 8 若者は「ラウンドワン」がほしい。→市の施設でラウンドワンをやる!
- 9 「市製ラウンドワン」ありだと思う(ラウンド8?みたいな)
- 10 若者はだいたい「ゲーム好き」、ゲームコラボのイベントがあるとよい
- 11 八戸のイカとスプラトゥーンコラボ
- 12 八戸のポケモンマンホールに描かれているうみねこポケモン

## 提言:こうつう

### ①公共交通について

#### ●現状課題

- ・市営バスが活用できていない
- ・バス代が高く、大学から中心街に行こうと思わない
- ・若者たち、特に学生、小中高の子たちは種差海岸、蕪島などに実はあまり行ったことがない。
- ・自転車の活用がない。小中の子たちは塾に行くのすら自転車を使えない。
- ・子どもの習い事の送迎で親が疲弊している。

#### ●期待する展望

- ・公共交通機関が整い「子どもが一人でもうろちよろできるまち」
- ・治安が良く健康に暮らせるまち

#### ●施策実施に対する懸念点

#### ●以上を踏まえた委員からの提案

- 1 歓送迎会シーズン、忘新年会シーズンなど、中心街が賑わう時期は、タクシーも不足するため、試験的に市営バスを夜間遅い時間まで運行する
- 2 単身の若者が多く住んでいるエリアに立ち寄るコミュニティバスもあってほしい
- 3 八戸版ライドシェア

## 提言：だいがく

大学の公立化

### ●現状課題

- ・若者の県外への大学進学が止まらない
- ・残りたいと思えるような地元の大学や就職先がないのが現状

### ●期待する展望

- ・魅力があり、ある一定のレベルの大学に若者が集まる
- ・市として、連携や支援ができれば、若者定着にはつながる

### ●施策実施に対する懸念点

### ●以上を踏まえた委員からの提案

#### 1 八戸市立大学の設立

## 提言：いばしょ

若者がゆるーくつながれる居場所づくり

### ●現状課題

- ・公園、緑、イルミネーションなどのチルい・映える場所
- ・公園もないわけではないと思うが、環境が整備されていない公園
- ・デートする場所がない
- ・若い世代でも自分たちの住むまちをどう良くすればいいかなど思っていることを意見する場がない

### ●期待する展望

- ・いつでも帰って来れる空気があるようなまちが魅力的なまち

### ●施策実施に対する懸念点

### ●以上を踏まえた委員からの提案

#### 1 ただ座っているだけで気分が癒されるチルい場所

- 長根公園をくつろぎスポットに！桜、イルミ、YSの外観を眺められる芝生や階段
- 中心街～更上閣～長根公園を周遊コース
- YSアリーナに映画！ゲーム投影！若者主体の小さいイベントが開かれやすい場所

## 提言:せいかつ

①若者がゆるーくつながれる居場所づくり

②健康な自分

### ●現状課題

・若者と女性に当てはまっていないという感覚の行政サービス

### ●期待する展望

・幸せを感じられるのは健康あってこそ(健康でないと幸せを感じにくい)

・健診の受け方や受けることによる効果の情報を知る

### ●施策実施に対する懸念点

### ●以上を踏まえた委員からの提案

- 1 公営住宅の入居条件を緩和して若者に貸し出す(団地を学生の下宿に)
- 2 単身で住む若者の住まいの補助
- 3 市内の家賃補助  
→給与は安いが出費が少なくなり、満足度はあがるのでは
- 4 病気予防を応援
- 5 若者の健診ポイントラリー
- 6 任意接種のワクチンの助成(インフルとかコロナとか)
- 7 HPV ワクチン助成を男性にも拡大
- 8 留学希望者へのワクチン助成